

## 令和7年度 第1回 名古屋市国際化推進会議

日時：令和8年2月2日（月）

場所：本庁舎2階 特別会議室

### 次第

- 1 本市の国際化推進に係る基本的な考え方について

## 本市の国際化推進に係る基本的な考え方

### 1 背景

日本では人口減少に伴う労働力不足や経済活力の低下が進む中、グローバル化の進展による人的・経済的な国際交流は拡大している。また、不安定な国際情勢を受け、国際貢献・国際平和の重要性が認識されている。

こうした情勢の中、本市の外国人住民は増加傾向にあり、国の制度改正により、外国人労働者の増加に加え、その家族の受入の拡大や転籍の自由化による外国人労働者獲得の都市間競争の激化など、新たな課題が懸念されている。

また、アジア・アジアパラ競技大会、アジア開発銀行年次総会及びアジア消防長協会総会などの国際的な行事の開催を控えている。



アジア・アジアパラ競技大会、アジア開発銀行年次総会及びアジア消防長協会総会などの国際的な行事の開催を契機として都市の発展につなげるためのレガシーの形成を推進する。

また、グローバル化の一層の進展や国際的な都市間競争の激化が見込まれる中、国内外での幅広い交流を通じて相互理解や国際感覚の醸成を図るとともに海外の活力を取り込むことで本市が国際都市として成長し、市民生活をより豊かにできるよう「外への国際化施策」「内なる国際化施策」を両輪とした国際化施策を推進する。

### 2 取組の方向性

#### 【施策推進】

(1) アジア・アジアパラ競技大会やアジア開発銀行年次総会等を開催する本市が世界的な国際都市として深化し、将来に向けて持続的に発展するための方針を策定するとともに、本市の国際化施策を全庁一丸となって推進する。

当方針は、国際交流・多文化共生の範囲に留まらず、経済・環境・教育など幅広い分野を含めた総合的なものとするため、各局区室と協議のうえで作成する。

(2) 外国人住民数が10万人を超え、日本人の減少数を上回るペースで増加していることから、防災・福祉・教育など市政の幅広い部門において外国人住民の対応がより一層求められるようになるの

みならず、地域においても増加・多様化する外国人住民の対応をきめ細やかに実施していく必要がある。

